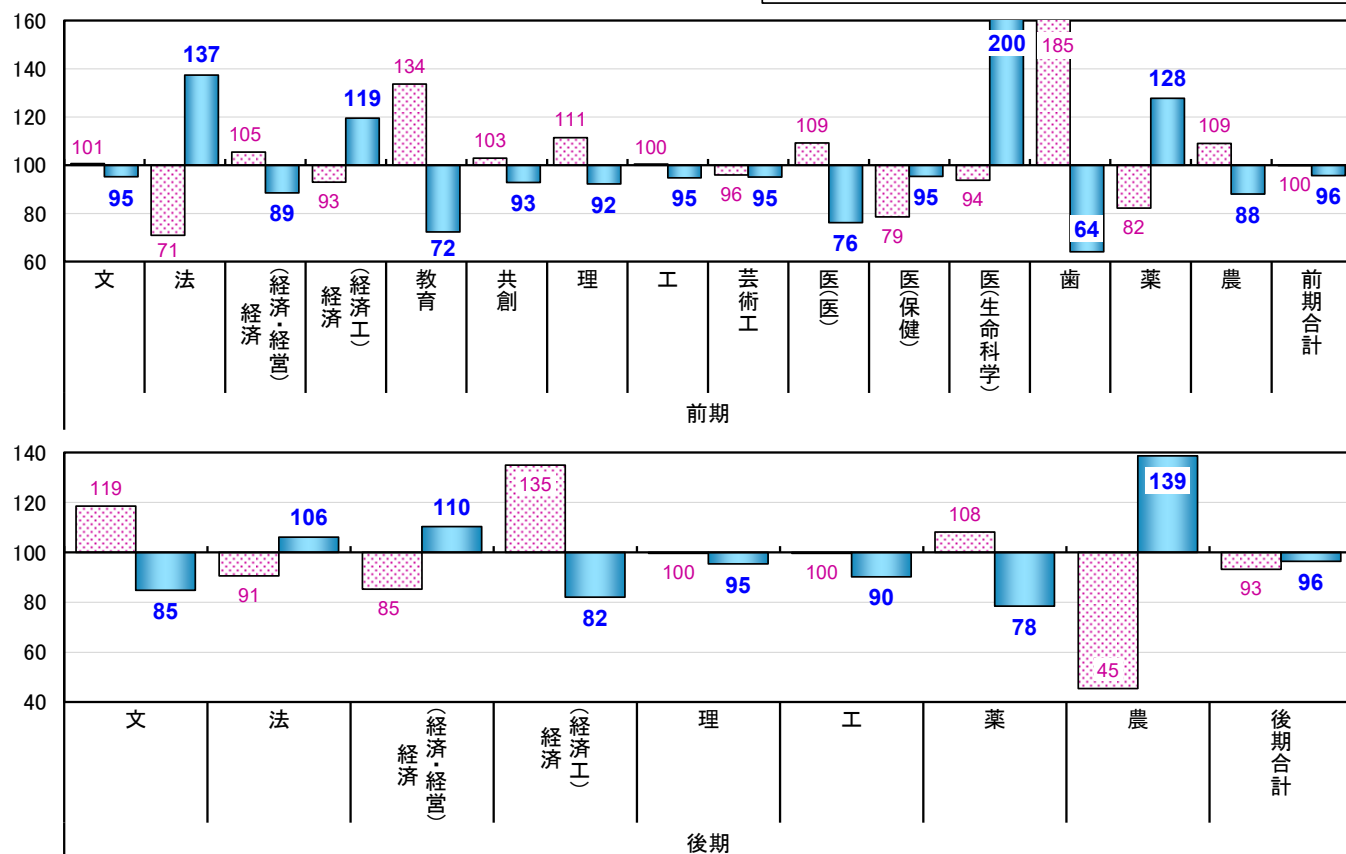


# 2020年度入試状況分析【国公立大】

九州大：前期・後期ともにやや減少、医(医)<前>は大幅減少 前期：-225人 後期：-82人

※前年度の志願者数を100とする指数

□2019年度/2018年度 ■2020年度/2019年度



**入試変更点**

学科改組：芸術工…音響設計、画像設計、環境設計、工業設計、芸術情報設計  
 →芸術工/環境設計、インダストリアルデザイン、未来構想デザイン、メディアデザイン、音響設計

選抜方法：共創<前>…英語外部試験の対象試験に GTEC(4技能)追加  
 英検、GTEC CBT、IELTS、TEAP、TOEFL iBT→英検、GTEC(4技能)、GTEC CBT、IELTS、TEAP、TOEFL iBT  
 英語外部試験(GTEC CBT)のスコア変更 1,000点以上→1,050点以上

芸術工<前>…学科別募集136人→コース別募集111人+学科一括募集20人

募集人員変更：医(医)<前>…111人→110人

第1段階選抜基準変更：医(医)<前>…約4倍(通過予定人数：444人)→約2.5倍(通過予定人数：275人)

個別試験：医(医)<前>、歯<前>…数+理2+外→数+理2+外+面

**COMMENT** ※ ( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は225人(96)のやや減少。文理別では、文系は19人(102)の微増、理系は244人(94)のやや減少。後期は82人(96)のやや減少。文理別では、文系は11人(101)の微増、理系は93人(94)のやや減少。

- <前期日程>
- 文(95)は、やや減少で、2017年度以降、前年度の反動による増減が続いている。
  - 法(137)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。志願倍率も2.1倍→2.9倍にアップ。
  - 経済(101)は、前年度並。学科別では、(経済・経営)(89)は前年度の反動で減少。(経済工)(119)は2年連続減少の反動で大幅増加。
  - 教育(72)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率も3.4倍→2.5倍にダウン。
  - 共創(93)は、やや減少。新設3年目で初めて志願者数が200人を下回った。
  - 理(92)は、4年連続増加の反動で減少。学科別では、数学(112)は増加、地球惑星科学(105)はやや増加、一方で化学(75)、生物(85)は大幅減少、物理(89)は減少。
  - 工(95)は、やや減少。志願者数が1,400人を下回ったのは、2007年度以来。学科別では、地球環境工(109)が増加、物質科学工(105)はやや増加、一方で、電気情報工(85)は大幅減少、機械航空工(88)は減少、建築(96)はやや減少。
  - 芸術工(95)は、やや減少で、2年連続減少。新設の(学科一括)の志願倍率は2.9倍で、学部全体の志願倍率3.3倍を下回った。コース別募集では、募集人員が旧学科と変更があったので志願倍率と比較すると、(芸術工/環境設計)が0.6ポイントアップ、(芸術工/未来構想デザイン)が0.5ポイントアップと競争が激化し、一方で(芸術工/インダストリアルデザイン)は1.1ポイントダウンと競争が緩和した。
  - 医(医)(76)は、第1段階選抜基準が厳しくなったことに前年度の反動も加わり、大幅減少。なお、第1段階選抜は、志願倍率が2.46倍と第1段階選抜基準を下回ったため、実施されなかった。
  - 医(保健)(95)は、前年度大幅減少の反動はなく、やや減少で2年連続減少。専攻別では、(保健/看護)(90)が減少で、他の

## 2020 年度入試状況分析【国公立大】

2 専攻は前年度と同人数だった。

- 医(生命科学)(200)は、倍増。募集人員が少ないので前年度対比指数は極端になりやすいが、2016 年度以降、前年度の反動による増減が続いている。
- 歯(64)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率も 2.2 倍→4.0 倍→2.6 倍と大きな変化が継続した。
- 薬(128)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。2016 年度以降、前年度の反動による増減が続いている。学科別では、(臨床薬)(147)が大幅増加、(創薬科学)(113)は増加。
- 農(88)は、前年度増加の反動で減少。2017 年度以降、前年度の反動による増減が続いている。

### <後期日程>

- 文(85)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。2015 年度以降、前年度の反動による増減が続いている。
- 法(106)は、前年度減少の反動でやや増加。2016 年度以降、前年度の反動による増減が続いている。
- 経済(101)は、2 年連続減少の反動はなく前年度並。学科別では、(経済・経営)(110)が増加、(経済工)(82)が大幅減少と対照的。いずれも前年度の反動で、(経済工)は、2012 年度以降、前年度の反動による増減が続いている。
- 理(95)は、やや減少で 3 年連続減少。学科別では、(地球惑星科学)(147)が大幅増加、一方で、(化学)(80)が大幅減少。
- 工(90)は、5 年連続減少。学科別では、(地球環境工)(131)が前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(エネルギー科学)(37)は前年度倍増以上だった反動で激減。
- 薬(78)は、前年度の反動で大幅減少。2016 年度以降、前年度の反動による増減が続いている。学科別では、(創薬科学)(69)が大幅減少、(臨床薬)(88)は減少。
- 農(139)は、前年度半減以下だった反動で大幅増加。志願倍率も 12.8 倍→5.8 倍→8.1 倍と大きな変化が継続した。